

鉄の道 観光ルート1

たたら由来のブランドを食べる

「棚田」と「食」の 歴史体感の旅

奥出雲町の農業システムは、砂鉄採取跡地を耕地に環境修復し、たたら製鉄の営みと有機的に結びついた持続可能な複合的農業と資源の利用によって農業生産性を高め、先人の知識や技術を継続した資源循環型農業が行われています。先人たちが資源を無駄なく循環させることで農業生産と持続性を高め、文化や生物多様性、良好な景観をつくり上げてきた風景と、そこで生まれたブランドを食べる旅をご案内します。



鉄穴流し

奥出雲
そば

奥出雲
和牛

仁多米

森林

〈森林の循環利用〉
山林の循環利用による水源かん養
生物多様性の保全

資源循環型農業システム

たたら製鉄による
農業基盤の形成
地力の向上による
良質米の生産
仁多米

耕地

循環型
農業

和牛の
飼養管理技術の継承
牛糞と稲わら・山草を
混合した発酵堆肥
奥出雲和牛

和牛

「棚田」と「食」の

歴史体感の旅

羽内谷鉄穴流し選鉱場跡



10分
➡



↓ 奥出雲町内

たたら製鉄に必要な砂鉄を取る鉄穴流しの最終工程の遺構で、巧みに水流を利用して砂鉄と土砂を選り分ける技法が一見できます。

牧場でバター作り

20分
←



ダムの見える牧場

放牧によって牛が自由の行動できる飼育環境の牧場。牛の餌やりやバター作り体験が人気です。
電話：0854-54-2260 奥出雲町観光協会

仁多米の食

仁多米と餅つき体験

町内のお食事どころでは仁多米を提供しています。また、昔ながらの杵と臼でつく餅つき体験もできますのでお問い合わせください。
電話：0854-54-2260
奥出雲町観光協会

奥出雲そば



そばどころとして知られる奥出雲町には、蕎麦屋さんが多いのも特徴。「そば打ち体験」ができる施設もありますのでお問い合わせください。
電話：0854-54-2260
奥出雲町観光協会

奥出雲町そばマップ

棚田景観

追谷の棚田

鉄穴流しで山々を切り崩して砂鉄を採取した後の膨大な土砂でできた台地を、長い間に農地に造成して出来上がったのが棚田。国の重要文化的景観の選定区域の一つです。

奥出雲舞茸直売所



20分
➡

菌床栽培した舞茸や椎茸、エリンギなどの栽培工場。敷地内では名水「延命水」が自由に汲めます。
TEL:0854-52-0017

20分
↓

酒蔵「道の駅」



道の駅酒蔵奥出雲交流館

全国でも珍しい酒蔵が運営する「道の駅」。銘酒はもとより漬物やお醤油、味噌など地元の発酵食品も充実。
TEL:0854-57-0888

鉄の道 観光ルート 2

たたらの国のものづくり訪問 ものづくり産業 体験の旅

たたら製鉄で繁栄した出雲の地では、鉄を扱う鍛冶技術はもとより、森林資源を活かした木工技術などが伝わり、中でもそろばん

は、国内一の産地となりました。普段あまり見られないものづくりをお楽しみください。



組子細工



そろばん
工芸



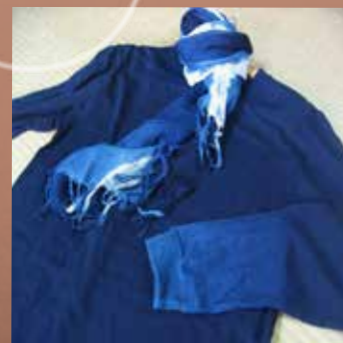
鍛冶工房



藍染め



ヤスキ
ハガネ



ものづくり産業

体験の旅

そろばんと工芸の館



体験可

伝統工芸品であるそろばんの展示・販売だけではなく世界にひとつだけの「ミニマイそろばん」を作ることができます。

TEL:0854-52-0839

舟木木工所

体験可



古くから伝えられてきた手法「組子細工」を守りながら、現代感覚の発想でデザインする技術。木の優しい肌触りと緻密な時間が楽しい創作体験。

TEL:0854-49-7301



絲原家住宅



鉄師御三家の一つで国の登録有形文化財。出雲式庭園や記念館の展示品が圧巻です。

30分

金屋子神社



鉄の守護神「金屋子神」を祀る総本社。製鉄、鍛冶、鋳物などの仕事に関わる人々に信仰されている、鉄に関わる産業の神様。

20分

40分

たたら製鉄の俊樹技術の蓄積のもと、近代およそ100年の研鑽によって生まれた「ヤスキハガネ」は最高級の特種鋼として世界に知られています。和鋼博物館では包丁、ナイフなどのヤスキハガネ製品を販売しています。



天野紺屋

江戸時代に広瀬藩で始まったとされる広瀬がすりのおしゃれでかわいい生活小物を作る。お土産に最適な染め物がたくさん。

TEL:0854-32-3384

体験可



鍛冶工房弘光

日本刀鍛錬の技を生かした美と用のしつらえを提案する創作鍛造工房。燭台や花器、行燈など落ち着いた作品が人気です。

TEL:0854-36-0026



鉄の道 観光ルート 3

漫画・アニメ・小説・映画に登場する エンタメ登場地を 巡る旅

「出雲國たたら風土記」の圏域には、漫画・アニメ、小説、映画などさまざまなエンターテインメントに登場したスポットがあります。あの司馬遼太郎や松本清張も訪れ、映画にもたたらばが描かれています。作品の世界に入り込んで登場人物や作者の目線で巡る旅をお楽しみください。



菅谷たたら山内

たたら
アニメ

鬼の舌震(鬼の試刀岩)



黒刀(奥出雲たたらと刀剣館)

刀剣
漫画



吉田の街並み

小説
『街道をいく』

映画
「砂の器」



エンタメ登場地を

巡る

田部家土蔵群



松江藩鉄師頭取でもあった田部家の繁栄とともにあった街並みに残る土蔵群は、当時の生活、風土と文化の薫りを色濃く残している。司馬遼太郎も訪ねた鉄の道の原点。



菅谷たたら山内

かつて製鉄に従事していた職業集団が暮らしていた集落。日本で唯一その面影を残す場所で、たたらにまつわる有形・無形の生活文化や高殿様式の炉、元小屋、長屋などが残る。
TEL:0854-74-0350

可部屋集成館



櫻井家住宅・可部屋集成館

名勝の日本庭園には、松平不昧公が「岩浪」と命名した滝があり、四季折々の形式が楽しめる。可部屋集成館には櫻井家に伝わる美術品や歴史資料が多く展示。

TEL:0854-56-0800



亀嵩駅



松本清張の小説「砂の器」のキーワードになったのが「かめだけ」。その名を残す駅の待合室は蕎麦屋。店内で切符や駅グッズも販売中の楽しい駅。



鬼舌震

斐伊川上流のV字峡谷で河岸の絶壁や巨岩が特異な景観を見せる。鬼が刀を試し斬りしたと言われる「鬼の試刀岩」がある。

TEL:0854-54-2260



稲田神社

スサノオノミコトの妻となるイナタヒメが生まれたとされる「稲田」に建つ神社。良縁、安産、縁結びなどのご利益で信仰される。

和鋼博物館

たたら製鉄に関する総合博物館。国重要有形民族文化財の「たたらによる和鋼生産用具」や、映像・体験・コーナーなどを通じて生産技術や流通、日本刀などを展示。

TEL:0854-23-2500



奥出雲たたらと刀剣館



奥出雲町のたたら製鉄について総合的に学べる。“ふいご”の実物模型や、たたら炉やその地下構造の実物大断面模型も展示。また日本刀作りについても紹介され、日本刀の鍛錬も実演の見学可能。(要予約)

TEL:0854-52-2770

